匠20人に栄誉

京の名工に選定

京都府は熟練の技を持つ2016年度の「京の名工」(府伝統産業優秀技術者)20人を選び、このほど上京区の府公館で表彰式を行った。30年以上にわたって府内で従事した60歳以上を対象としている。選ばれた人と功績は次の通り。(敬称略)

竹工芸　井上定信(61)
花器などの小さいものから竹垣まで、竹工芸品全般を制作できる数少ない技術者。素材の持つ美しさを最大限引き出し、竹のしなやかさを巧みに活用した優美な作品は高い評価を得ている。(右京区)

箔押　大石孝(66)　箔の艶をムラなく自由自在に加工し、箔と箔の継ぎ目が分からないほど緻密に仕上げ、下地の漆と箔の接着が手で揉んでも離れないよう仕上げる技術について、高い評価を得ている。(城陽市)

造園　小河正行(61)
裏千家の規矩を熟知し、歩きやすい飛石や延段のデザインなどに高度な技術を有している。剪定作業では露地の持つ特徴を勘案し、見合った透かし剪定を施すなど、技量は高い評価を得ている。(東山区)

蒔絵・螺鈿　兼松俊明(63)
青貝・螺鈿の材料について、夜光貝を薄い層に分離して1枚の貝にする「炊貝」の製法を受け継ぎ、薄くすり下ろした「摺貝」との光沢の違いを生かした、表情豊かな作品を制作する。(東山区)

鹿の子絞　喜多三重子(68)
絞り粒は通常、1尺間45粒程度だが、60粒以上の精緻な括りを行う高度な技を有する。美しい陰影がある独特の立体感ある表現は、白く残った模様が浮き上がるように見えると言われる。(京田辺市)

京人形　北川氏也(61)
京人形の頭制作・絵付工程を手掛け、人形頭を桐塑によって地塗り胡粉などの工程を引き継がれてきた技法で成形する。切れ長の目元で「京都らしい気品・品格」がにじみ出る表情が最大の特徴。(右京区)

簾　久保田晴司(63)
神社仏閣で使われる御翠簾など多様な製品を手編みで手掛ける数少ない技術者。亀甲模様などの柄を簾の一部に表現する優秀な技術を持ち、味わいのある美しい仕上がりが高評価を得ている。(下京区)

製織　小玉早千子(64)
伝統的な技法であるぼかしや正確に文様を製織する技術に卓越し、爪の先で一糸一糸織り込みながら、文様に生き生きとした表情や動きを表現する技術について高い評価を得ている。(北区)

陶磁器成形　坂口進(65)
薄くろくろ成形した器を乾かした後、成形に適した堅さを見極め、歪みなく透かしを正確かつ丁寧に短時間で成形する。ふた付き向付など寸分の狂いなく生産する技術は高く評価されている。(山科区)

紋章　地主成利(61)
紋章上絵技術の中でもその中心となる型彫りと墨での紋上絵において卓越した技術を有する。刷り込み型や紋糊型、抜き紋型での繊細な線を狂いなく彫り上げる技術は高評価を得ている。(中京区)

蒔絵　下出祐太郎(61)
数百種類の金銀粉や貝などの素材を組み合わせることで、細かな装飾をあしらうほか、紋様を漆で盛り上げる「高蒔絵」などの手法を組み合わせ、奥行きや立体感のある蒔絵を制作している。(下京区)

陶磁器成形　齋嶋邦広(63)
一般食器から割烹食器、洋食器まで多様で高度なろくろ成形技術を有する。熟練の技術が必要とされる糸目を得意とし、正確な間隔かつ絶妙な深さの糸目を削ることができる。(西京区)

手描友禅　寺谷昇(67)
下絵、糊置、友禅などさまざまな技法を統合した技術に優れ、訪問着や留袖、帯などの作品細部に生かされている。確かな写生力に基づくデザインと構成に高度な熟練した技術を有している。(左京区)

鹿の子絞　富山高吉(71)
1965年に父の藍染工房に入り、73年独立。多種の防染技法に精通し、特に桶絞技法に卓越した技能を有する。独自の工夫を重ねて新しい技法開発に対する意欲は高い評価を得ている。(中京区)

表具　中島實(67)
表具の技術の中でも、裏千家職方の表具師として、茶室のしつらえについて高度な技術を有する。古書画の修復も得意とし、作品が持つ本来の風合いを壊さずに仕立てる技術に高い評価を得ている。(北区)

彫金　中村光男(60)
彫、毛彫、片切彫などの伝統的技法に精通し、彫金の技法全般で高い技術を持つ。伝統的文様から現代宝飾の彫金に至るまでの多彩で幅の広い作品は、細部にわたって高い精度で制作されている。(中京区)

扇子仕立　野田彫蔵(69)
夏扇、舞扇、飾り扇などさまざまな形態の扇子の仕上げについて卓抜した技能を持つ。最大7尺(約2㍍)の巨大な着板扇から最小一寸(約3㌢)の豆扇まで手掛ける希有な技術は評価が高い。(山科区)

鹿の子絞　服部好三(71)
絞り製品の主流である呉服の絵羽物や訪問着を得意とし、製品制作の基となる下絵の高い伝統的技術を持つ。完成品を想定した構図と配色、絞り技法の巧みさは高い評価を得ている。(右京区)

鹿の子絞　日比勝治(64)
染め分け物や裾ぼかし、円彩ぼかしなどの色彩に優秀な技術を有する。生地の表面にできる凹凸や立体感などの感触、染めた時のぼかし、風合い具合の染色技術などは高い評価を得ている。(中京区)

陶磁器成形　横山武司(60)
打込型による磁器の制作を得意とし、そのため彫りが反転することを計算して型を作り、その型に均一に打ち込む高い技術を持つ。大型の作品についてもたわみなく成形できる。(東山区)